

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月6日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	株式会社ベルパーク
【英訳名】	Bell-Park Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西川 猛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
【電話番号】	03(3288)5211
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 石川 洋
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
【電話番号】	03(3288)5211
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 石川 洋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期連結 累計期間	第28期 第3四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	76,959,973	71,314,722	103,303,605
経常利益 (千円)	3,317,287	4,531,145	4,379,245
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	2,223,757	3,105,727	3,040,672
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,218,093	3,105,465	3,035,008
純資産額 (千円)	23,072,334	26,083,983	23,889,250
総資産額 (千円)	42,016,012	41,997,680	43,572,868
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	346.72	484.24	474.09
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.9	62.1	54.8

回次	第27期 第3四半期連結 会計期間	第28期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	97.05	114.94

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～同年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で経済活動を再開する動きが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。また、米中貿易摩擦による国際経済情勢の不安定化により先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場は、2019年10月施行の電気通信事業法の改正に伴い、携帯電話利用者の利益の保護を目的に通信料金と端末代金が完全分離され、端末代金の値引きに関する規制がなされました。2020年3月下旬には都市部を中心とした一部のエリアで、高速・大容量が特徴の次世代通信規格「5G」の商用サービスが開始されました。また、キャリアショップでは、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、各通信事業者の方針に基づき、お客様や従業員の安全と安心の確保を最優先とし、様々な予防措置が講じられました。

このような事業環境において、当社グループは、「3G」サービス終了に伴う「4G」サービスへの移行促進、「5G」対応スマートフォンの販売、並びに「学割」サービス、光回線、電気、キャッシュレス決済といった多様なサービスの提供等に注力するとともに、効率的な店舗運営を目的としたドミナント化を推進し、当社近接店舗との連携を強化しました。

当第3四半期連結累計期間における携帯電話等の販売台数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動自粛の影響を受けたものの、店舗数の増加等により前年同期と比較して増加し、さらに売上総利益率の高い光回線、キャッシュレス決済等の携帯電話以外の商材が好調に推移いたしました。なお、電気通信事業法の改正に伴う端末代金の値引き規制の影響等により、前年同期と比較して販売促進費が減少し、お客様が購入しやすい価格帯の携帯端末の販売割合が増加したため、前年同期と比較して売上高及び売上原価は減少しました。間接部門では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした在宅勤務を推進するとともに、会議、研修、採用業務のオンライン化等業務の効率化を進めたことにより、交通費や残業代等様々なコストが減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高71,314百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益4,502百万円(同36.9%増)、経常利益4,531百万円(同36.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,105百万円(同39.7%増)となりました。

[ご参考：キャリアショップ数]

当社グループが運営するキャリアショップ数は、2020年9月末時点で364店舗となりました。

(2020年9月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	247	58	305
ドコモショップ	8	-	8
auショップ	7	-	7
ワイモバイルショップ	37	7	44
合計	299	65	364

(2) 財政状態の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、41,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,575百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が874百万円増加した一方で、売掛金が1,303百万円、たな卸資産が1,475百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、15,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,769百万円減少しました。これは主に、賞与引当金が396百万円増加した一方で、買掛金が3,115百万円、その他流動負債が1,105百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、26,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,194百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,105百万円、前連結会計年度決算に係る期末配当及び当連結会計年度の中間配当の実施による利益剰余金の減少910百万円によるものであります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ7.3ポイント増加し、62.1%となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,370,000
計	26,370,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月6日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	6,732,600	6,732,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,732,600	6,732,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	-	6,732,600	-	1,148,322	-	1,602,729

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

なお、2020年9月16日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、光通信株式会社及びその共同保有者が2020年9月9日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第3四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができません。

当該大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株式数 (株)	株券等保有割合 (%)
光通信株式会社	東京都豊島区西池袋一丁目 4番10号	831,200	12.35
株式会社UH Partners 2	東京都豊島区南池袋二丁目 9番9号	634,800	9.43
株式会社UH Partners 3	東京都豊島区南池袋二丁目 9番9号	634,800	9.43
計	-	2,100,800	31.20

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 318,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,413,000	64,130	-
単元未満株式	普通株式 700	-	-
発行済株式総数	6,732,600	-	-
総株主の議決権	-	64,130	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式97株が含まれております。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ベルパーク	東京都千代田区平河町一丁目4番12号	318,900	-	318,900	4.74
計	-	318,900	-	318,900	4.74

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,345,930	22,220,588
売掛金	10,968,337	9,664,759
たな卸資産	5,316,659	3,841,351
その他	456,820	477,150
流動資産合計	38,087,747	36,203,850
固定資産		
有形固定資産	1,780,791	1,923,114
無形固定資産		
のれん	501,892	401,287
その他	71,192	122,890
無形固定資産合計	573,084	524,177
投資その他の資産		
敷金	1,967,821	2,082,028
その他	1,186,836	1,276,487
貸倒引当金	23,413	11,978
投資その他の資産合計	3,131,245	3,346,537
固定資産合計	5,485,120	5,793,829
資産合計	43,572,868	41,997,680
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,404,103	6,288,844
未払法人税等	1,029,670	1,054,100
1年内返済予定の長期借入金	-	5,014,802
賞与引当金	337,409	734,246
その他	3,211,648	2,106,326
流動負債合計	13,982,832	15,198,319
固定負債		
長期借入金	5,014,802	-
退職給付に係る負債	7,345	7,328
資産除去債務	466,761	511,587
その他	211,877	196,460
固定負債合計	5,700,786	715,376
負債合計	19,683,618	15,913,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,322	1,148,322
資本剰余金	1,872,489	1,872,489
利益剰余金	21,479,691	23,674,687
自己株式	611,515	611,515
株主資本合計	23,888,987	26,083,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	-
その他の包括利益累計額合計	262	-
純資産合計	23,889,250	26,083,983
負債純資産合計	43,572,868	41,997,680

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	76,959,973	71,314,722
売上原価	58,790,644	52,944,763
売上総利益	18,169,329	18,369,958
販売費及び一般管理費	14,880,518	13,867,106
営業利益	3,288,810	4,502,852
営業外収益		
物品売却益	13,109	2,445
店舗出店等支援金収入	888	15,700
投資事業組合運用益	5,798	-
助成金収入	8,977	855
貸倒引当金戻入額	150	11,435
その他	7,349	6,488
営業外収益合計	36,273	36,924
営業外費用		
支払利息	6,055	5,779
投資事業組合運用損	-	447
その他	1,740	2,404
営業外費用合計	7,796	8,631
経常利益	3,317,287	4,531,145
特別利益		
受取補償金	24,575	-
固定資産売却益	2,182	29,849
受取保険金	-	24,996
災害見舞金	-	20,435
特別利益合計	26,757	75,281
特別損失		
減損損失	2,847	2,601
店舗等撤退費用	7,315	9,767
その他	125	-
特別損失合計	10,289	12,368
税金等調整前四半期純利益	3,333,755	4,594,058
法人税、住民税及び事業税	1,247,699	1,609,854
法人税等調整額	137,701	121,524
法人税等合計	1,109,998	1,488,330
四半期純利益	2,223,757	3,105,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,223,757	3,105,727

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,223,757	3,105,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,664	262
その他の包括利益合計	5,664	262
四半期包括利益	2,218,093	3,105,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,218,093	3,105,465

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金戻入額」は、金額的重要性が増したため当第3四半期連結会計期間より区分掲記し、営業外収益の「貸倒引当金戻入額」として表示することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益の「その他」に表示していた7,499千円は、「貸倒引当金戻入額」150千円、「その他」7,349千円として組み替えております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。

これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
当座貸越極度額の総額	5,000,000千円	5,000,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	5,000,000	5,000,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
減価償却費	220,122千円	237,216千円
のれんの償却額	91,753千円	123,105千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月26日 定時株主総会	普通株式	237,306	37	2018年12月31日	2019年3月27日	利益剰余金
2019年8月6日 取締役会	普通株式	243,719	38	2019年6月30日	2019年9月13日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月24日 定時株主総会	普通株式	519,501	81	2019年12月31日	2020年3月25日	利益剰余金
2020年8月5日 取締役会	普通株式	391,229	61	2020年6月30日	2020年9月11日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、情報通信機器販売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	346円72銭	484円24銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,223,757	3,105,727
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,223,757	3,105,727
普通株式の期中平均株式数(株)	6,413,683	6,413,603

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年8月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 391,229千円

(ロ) 1株当たりの金額 61円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年9月11日

(注) 2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月6日

株式会社ベルパーク

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 敬二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川村 英紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ベルパークの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ベルパーク及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。